



春季学習集会

※ どなたでも参加できます！

「国語」のゆくえ —教科書から文学作品が消える?—



「高校の国語教科書の内容を覚えていますか？」と聞かれたら夏目漱石や芥川龍之介などの作品を思い出す人も多いのではないのでしょうか。本年度から高校で使用されている必修の国語教科書「現代の国語」では、実務的文章の読み書きを訓練する内容が重視され、文学作品軽視の流れが強まっています。小中学校でも同様の傾向が見られます。

なぜこのようになってしまったのでしょうか？

国語教科書（高校、中学を中心に）はどう変わったのか？ 現状と問題について学習します。併せて、小学校、中学校での国語の授業の様子（今昔）も交流し国語教育について考えます

◆新型コロナウイルス感染症対策について

- ・熱、咳がある方は参加をご遠慮下さい。
- ・入場にはマスク着用、手指消毒、参加者票記入の協力をお願いします。

講師 **大山 圭湖**さん（子どもと教科書全国ネット常任運営委員、児童言語研究会研究部長）

2022年

日時 **4月27日（水）** **場所** **東上野区民館401集会室**

18:30～20:30 終了予定

東上野谷 3-24-6 TEL (5807) 1520

共催 東京都教職員組合 台東支部 / 子どもと教科書台東ネット21

[連絡先：台東協同法律事務所 TEL (3834) 5831]